

平成28年7月4日

平成28年度 石油コンビナート事業再編・強じん化等推進事業  
(石油産業構造改善事業)の選定結果について

石油コンビナート高度統合運営技術研究組合 (RING)

石油コンビナート高度統合運営技術研究組合は、このたび経済産業省からの補助金に係る平成28年度予算「石油コンビナート事業再編・強じん化等推進事業(石油産業構造改善事業)」について、補助金交付対象となる事業を選定しました。公募期間中に応募があった事業を対象として、組合内に設置した学識経験者等の有識者からなる審査委員会の厳正な評価及び審査を経て決定したものです。

詳細は、下記のとおりです。

記

1. 審査委員会メンバー

委員長 小川 芳樹 東洋大学 経済学部 学部長 教授  
委員 松方 正彦 早稲田大学 理工学術院 教授  
委員 平野 創 成城大学 経済学部 准教授

2. 選定された事業の概要

事業の名称 事業者名、事業期間《実施場所》	実施内容
コンビナート製油所統合運営事業 ・コスモ石油株式会社、 東燃ゼネラル石油株式会社 《千葉地区：千葉縣市原市》	コスモ石油と東燃ゼネラル石油の製油所間をパイプラインで結び、精製設備の最適化を行うとともに、共同事業体での生産計画および設備の統合運営を目指すものである。コスモ石油の重油直接脱硫装置と東燃ゼネラル石油の残油流動接触分解装置(RFCC)を組み合わせることで原料制約が緩和され、高付加価値な白油製品の効率的な生産ができる。また、両社の半製品、製品の融通等により、装置稼働の適正化につながる。これらにより、両製油所の石油精製設備の共用・集約化等による供給構造改善が可能となる。

3. 総評

本事業は公募を行うものであり、補助対象事業者の選定にあたっては、公平性・透明性を基本として審査を行いました。選定された事業については、評価基準を満足しており、目的とするコンビナートの複数事業所の統合型運営に基づく設備最適化を促進し、石油産業の供給構造改善を推進するものであることを確認しました。

我が国の石油精製を中心としたコンビナートを取り巻くグローバルな競争環境の激化の中で、本事業の着実な工事施工により、石油産業の供給構造改善につながる成果を確実に得ることを期待するものです。

以上